

# 藍住町のにんじん



藍住町は春にんじんの生産量が日本一です。

そのことは、全国でもたいへんよく知られています。

私たちは、藍住のにんじんが送られる場所や歴史、にんじん以外の野菜よりにんじんの作られるりょうの方が多い理由を調べてきました。

## 藍住町のにんじん作り

藍住町では、なるべく農薬を使わないようにするためにたいひや肥料用の草をすきこんで土作をします。

秋の終わりに種をまいて、4月ごろにしゅうかくし、しゅっかします。ほかの地方ではありませんどれ

ない時期なので高く売ることができます。

## 藍住のにんじんの歴史

明治時代の藍住は、葉藍作りがさかんだったそ

うです。

昭和中期には、つけもの用大根がさかんでした。

昭和中期を過ぎると昭和50年代になり、洋にんじん作りがさかんになりました。技術を積み重ねてきた先人が苦労に苦労を積み重ねた結果、今があると言われています。



## 日本農業賞で金賞！

藍住町のにんじんは、平成2年に金賞をもらいました。色や形が美しく、あまくてえいようもあるので人気があります。

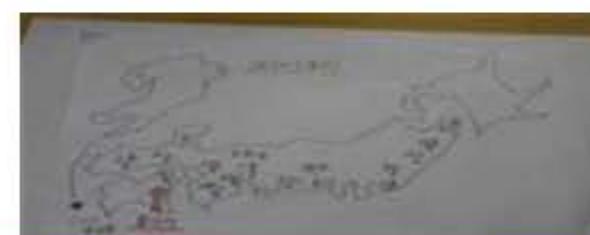
## 藍住のにんじんが送られる場所

特に洋にんじんが送られる場所です。

広島・岡山・愛知・東京・福島・千葉・香川・大阪・

和歌山・奈良・長野・石川・静岡・福島・岩手・埼玉・

三重・におくられます。



## 春にんじん生産量日本一！

藍住町は、春にんじんの生産量が日本一です。

藍住町は、冬もあまり寒くなく、土地も土とすなどねん土がちょうどよくまじっているの

で、にんじん作りにできしているのです。

## 野菜園芸地帯

藍住町は、何の野菜を作っても日本一と言われます。

野菜園芸地帯としても注目されてきました。

野菜園芸地帯とは、何をしても日本一ということです。

野菜の町とも言われるそうです。

## 藍住のにんじん

こんな藍住のにんじんを食べると元気が出そう、と思わせたにんじんだそうです。もちろんそれは、阿波ものと言うべきだそうです。